



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年 9月5日朝刊

現在、筆者は2年連続で3年生の担任をしている。激動の卒業生を送り出したと思っただけ持つこととなった。さまざまな情報が飛び交い、刻々と状況が変わる昨今だが、受験生は一意専心、粛々と勉強にいそしもう。

今年は特に、医師になることを希望している生徒が多いクラスを担当しているので、新聞を利用した医学部受験対処法を紹介したい。

医学部は国立・私立を問わず、面接と小論文の双方を課すところがほとんどだ。

面接と小論文の対策は、実は表裏一体である。世間で話題になった医療ニュースについて

医学部入試対策にも新聞

てはあらかじめ、しっかり自分なりの意見を持つておこう。スクラップノートを作り、考えをメモしておくといい。難しいことを言ったり書いたりする必要はなく、新聞記事の書き方である「逆ピラミッド型」で対応するのだ。

その得は文体獲得という目的を持ち新聞を読む・情報取得からの思考形成ツールとして新聞を捉える、という意識醸成しかない。

実際、過去に静岡新聞の記事より、浜松医科大学医学部の小論文の課題文が引用されている。医学部合格は、教科学習だけでは勝ち取れないことを肝に銘ぜよ。

(静岡高・実石 克巳)



42

※解答欄が足りない場合は、裏面に記すこと。

①名古屋高等裁判所が昭和37年(1962年)12月22日の判決において安楽死の要件(違法性阻却事由)を示した。その内容を調べ、医師としてどのように考えるか、論拠を明確にして述べよ。

②京都の筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者の囑託殺人事件ニュースをスクラップし、従来の安楽死事件との相違点を挙げ、医師としてどのように考えるか、論拠を明確にして述べよ。

③治療行為中止(尊厳死)の要件について、医師としてどのように考えるか、論拠を明確にして述べよ。

④医療と司法の「死」に対する考え方を整理し、それぞれの立場の観点から思うところを自由に述べよ。

年 組 名前

作問者: NIEアドバイザー 実石克巳(静岡高校 教諭)

(高校/国語)

<参考>①、②、③=法学、医学、薬学、倫理学、看護学に関する問題、④=医学、法学に関する問題